

U 1 2 T O

講義
再我



～T Oで子供の主体性を育てる～

U12TO講義の前に

- 本講義はJBAが2023年4月に出した『U12 TOマニュアル ハンドブック 「TOをやってみよう」』と 『TOマニュアルハンドブック』 から、内容を抜粋しています。

TOハンドブック第1章より～TOの重要性

0.1 秒単位の時間管理、数多くの得点機会、回数制限のない選手交代など、他の競技には見られないバスケットボールの特性を考えれば、TO の重要性は明らかである。また、近年、Bリーグ、Wリーグなどトップリーグのゲームでは、プレーのハイレベル化と、各種機材の進化により、今まで以上にTO の専門性が高まっている。

TOハンドブック第1章より～TOの重要性

TO は、とてもやりがいのある仕事である。ミスやトラブルが発生したときに非難されることがあり、無事にゲームを終えた後に対戦チームや観衆から称賛されることはめったにないかも知れない。しかし、両チームのコーチやプレーヤーが、TO の存在など忘れてしまったかのように、ゲームに集中して最高のパフォーマンスを発揮してくれたとしたら、それこそが、TO に対する最高の評価であると言える。TO クルーは、互いの健闘をたたえ、大きな達成感を味わうことであろう。

テーブルオフィシャルズは、抜群の身体能力も運動神経も必要としない。プレーの経験がなくてもよい。必要なものは、「正しい知識」「責任感」「豊かな経験」、そしてそれらを得ようとする意欲である。このハンドブックは、TO の「正しい知識」を得るとともに、TO への「責任感」を醸成することに資すると信じる。その上で、ミスやトラブルが発生したときはその事実を受け止めたうえで次なる成長につなげていただきたい。

U12TO 講義

- 子供たちに身につけてほしい力『責任感』
- 上手い選手だけが地位的優位な立場にあるのではなく、チーム、対戦相手、審判員、TO、大会運営者、そして家族。多くの人に支えられてこそ今の自分があるということを実感し、TOは大会運営に大きく貢献しているということも実感してほしいと考えている。

TOの役割

U12 TOマニュアル ハンドブック

「TOをやってみよう！」

2023年4月

(公財) 日本バスケットボール協会 TO委員会

TOの役割～前文より～

①□に入る言葉は何でしょう？

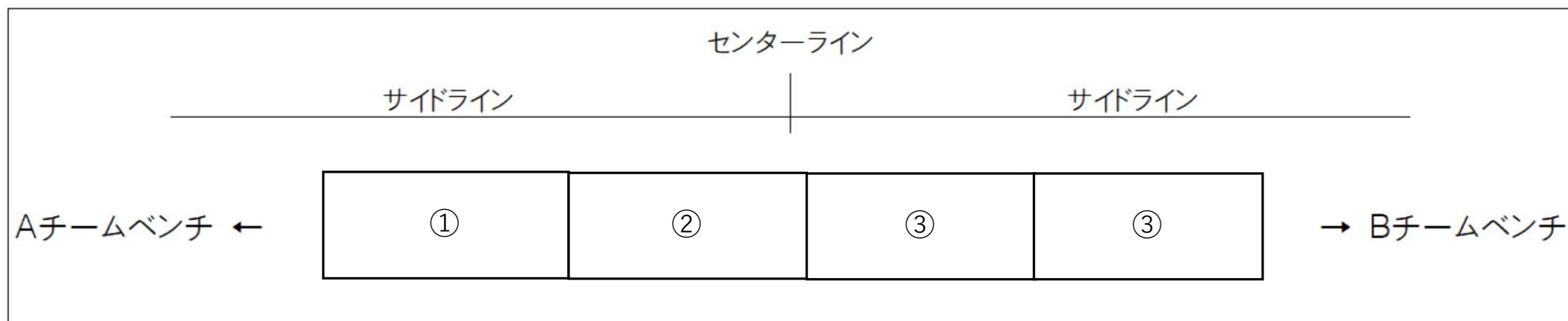
テーブルオフィシャルズは、バスケットボールのゲームになくてはならない役割です。□とともに、公正で円滑なゲームを支える、とても大切な仕事をしています。また、テーブルオフィシャルズの仕事を覚えることは、□の勉強にもなります。この冊子をよく読んで、テーブルオフィシャルズをやってみましょう！

TOの役割～前文より～

①の答え

テーブルオフィシャルズは、バスケットボールのゲームになくてはならない役割です。**審判**とともに、公正で円滑なゲームを支える、とても大切な仕事をしています。また、テーブルオフィシャルズの仕事を覚えることは、**ルール**の勉強にもなります。この冊子をよく読んで、テーブルオフィシャルズをやってみましょう！

②誰がどこに座るでしょう？



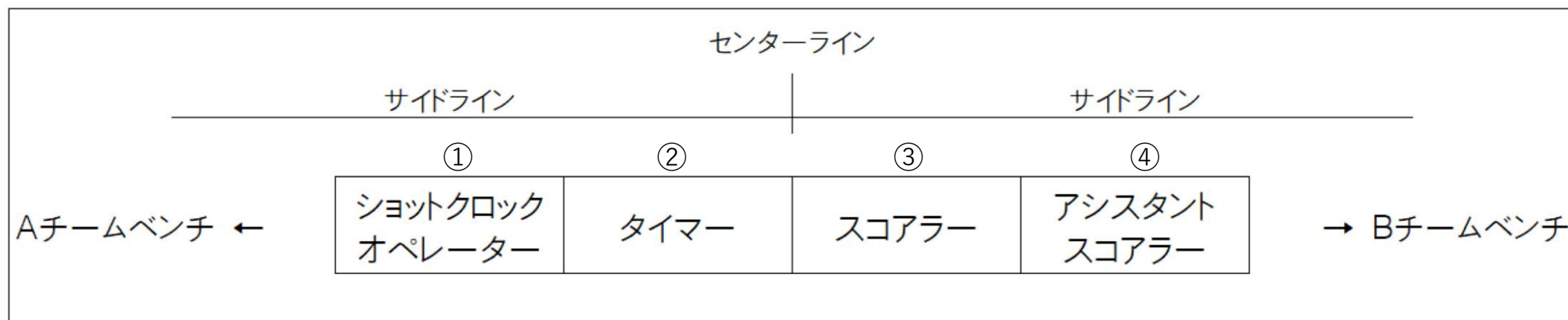
タイマー

スコアラー

ショットクロック
オペレーター

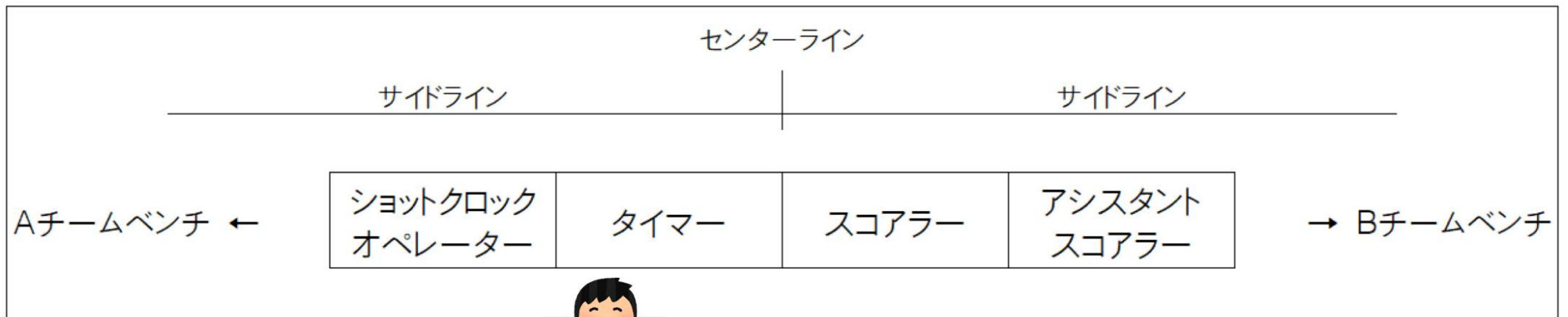
アシスタント
スコアラー

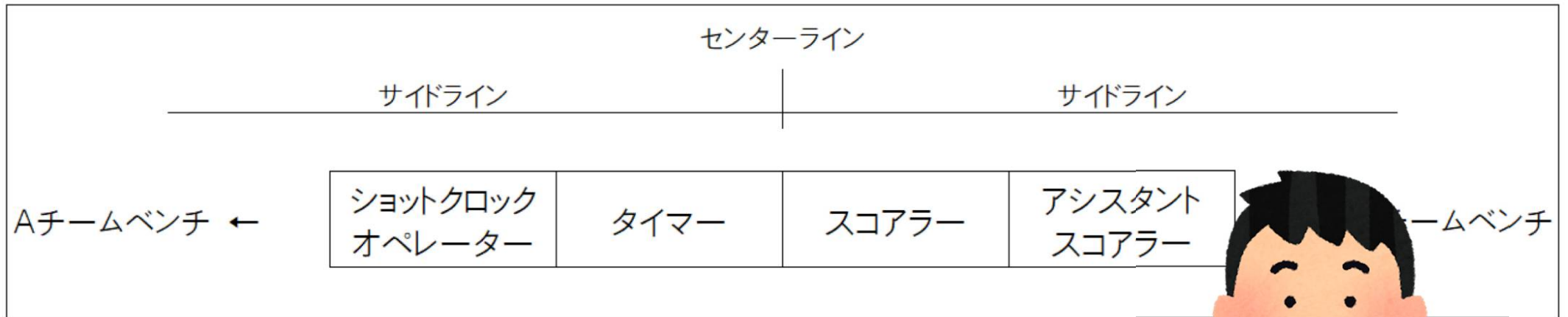
②の答え



※全国大会予選（県決勝大会）でも、TO席の並べ間違いがあります。
日頃か、正しい順番で大会を行うようにしておきましょう。

③TOの後ろに立つ大人はルール上良い？





③TOの後ろに立つ大人はルール上良い？
『TOサポーター』、または『TO主任』と
 してTO席の後ろに立つことができます。
 しかし、この二つの役割はそれぞれに権
 限が違います。子供たちのTOスキル向上
 のためにもそれぞれの役割を理解し、正
 しい支援ができるようにしましょう。

T0サポーターの役割

- U12T0マニュアルハンドブックの内容に沿ってサポートをする。
- T0の子供たちを見守り、褒める「グッジョブ」、励ます「大丈夫だよ！落ち着いてやろう」の声かけをする。
- ミスが起きた時に審判に知らせる。但し、知らせるタイミングはタイマーが止まっている時。ブザーを鳴らし、ゲームを止めてはいけない。



ほめる

守る



TO主任の役割

(2) 役割

• TO 主任は、以下の役割を担う。

- ① ゲーム前の準備
- ② ゲーム中の TO クルーの仕事のサポート
- ③ TO クルーと審判や各部署とのつなぎ役
- ④ 重大な場面でのブザーの合図 (※)
- ⑤ トラブル発生時の TO クルーのサポート

※ 第 4Q または OT の最後の 2 分の場面で、ショット成功後のタイムアウトまたは交代の請求に、スコアラーが対応できなかったときは、TO 主任がブザーを鳴らす。



TOサポーターとTO主任の違い

TOサポーターは見守る姿勢を大切にしているので、ブザーを鳴らすことはできません。タイマーが止まっているという状況で、ミスを知らせる場合のみです。

一方、TO主任は第4クォーター残り2分切って、スコアラーが交代やタイムアウトに対応できない場合はブザーを使って知らせることができます。また、このルールはU12ではありません。

TOサポーターはU12だけの特別な役割です。

子供たちが主体的にTOに取り組める環境を整えることが大人の役目だと考えています。失敗することも含め「失敗しても大丈夫」「後ろでちゃんとフォローするからね!」という安全基地的な役割がTOサポーターです。

審判をする時も同様に、子供ですからミスがあるものだと想定し、ミスがあった時に子供たちが萎縮するような対応を取るのではなく、同じクルーであり、守るべき仲間であるという感覚で取り組みましょう。

U12 TOサポーター マニュアル・スコアラー

(1) スコアラー

- スコアシートに得点やファウルなどを正しく記入しているか。
- 審判がファウルのレポートをするとき、アイコンタクトして、サムアップ（OKサイン）ができていないか。
- タイムアウトや交代の合図を正しく行っているか。

審判の笛のあと（ファウルときは審判のレポートのあと）速やかにブザーとジェスチャーだけで合図する。
合図するときに、立ち上がった声を出したりしない。

U12 TOサポーター マニュアル・スコアラ

- ジャンプボールシチュエーションのとき、アローの反転を正しく行っているか。

ジャンプボールシチュエーションになったら、アローに手を置く。（高く掲げない。）スローインされたボールがコート内のプレーヤーに正当に触れたら、アローを反転する。

【注意】

- TOサポーターは、スコアシートのラニングスコアとスコアボードの表示が一致しているか、ファウルの記録と表示が一致しているか、ときどき確認してください。
- ベンチからのタイムアウトや交代の請求に注意し、スコアラが気付いてなければ、すぐに知らせてください。
- 2Q終了後に、スコアラが両チームのマネージャーと、前半のファウル回数、得点、後半の最初にスローインするチームを確認するときは、立ち会ってください。

U12 TOサポーター マニュアル・アシスタントスコアラー

(2) アシスタントスコアラー

- 個人ファウルとチームファウルの個数を、正しく表示しているか。

個人ファウルよりチームファウルを先に示す。

個人ファウルは、①ベンチに向けて②正面に向けて③再びベンチに向けて、の3段階で行う。

表示するときに、立ち上がったたり声を出したりはしない。また、表示ふだは上下に振ったり回したりしない。

- チームファウルペナルティーの赤色の標識を、正しく表示しているか。

4 個目のチームファウルのあと、スローインするプレーヤーまたはフリースローするプレーヤーにボールが与えられたときに赤色の標識を表示する。

表示するときに、声を出したりブザーを鳴らしたりはしない。ただし、5 個目のファウルのあと、審判がチームファウルペナルティーに気付かずにスローインさせようとしているときには、ブザーを鳴らして伝える。

- 得点が入ったときにスコアボードの得点をコールしているか。

スコアボードに表示される得点を「23 対 45」のようにコールする。（スコアラーはそのコールを聞いてランニングスコアと表示された得点が一致していることを確認する。）

コールは、スコアシートのランニングスコアの欄に合わせて、常に「チーム A ⇒ チーム B」の順に行う。

タイマーがスコアボードの操作を行う場合も、このコールはアシスタントスコアラーが行う。

U12 TOサポーター マニュアル・タイマー

(3) タイマー

- スタートするとき、「スタート！」とコールして、「手を握る」⇒「手を下ろす」の2段階の動作をしているか。
- ストップするとき、「ストップ！」とコールして、その瞬間に手を上げているか。
- 2個のフリースローするとき、最後の一投の前に手を上げているか。
- タイムアウト（45秒）を計測しているか。
- タイマーがスコアボードの操作をする場合、得点入力よりスタート／ストップの操作を優先して行っているか。

【注意】

- フリースロー以外でも、交代があるときなど、少し間があるときは、一度上げた手を下ろしても構いません。ただし、次にゲームが再開するときは、手を上げておきます。

U12 TOサポーター マニュアル・ショットクロックオペレーター

(4) ショットクロックオペレーター

- ボールのコントロールの始まりを見極めてスタートしているか。
- スタート/ストップ時の声出しと目視による確認を行っているか。
- 審判が笛を鳴らしたときは一度ストップし、シグナルを確認して継続/リセットの操作をしているか。
- フリースローのときと、24 秒リセットのスローインのとき、非表示にしているか。
- ボールがリングに触れた瞬間に非表示にしているか。
- 各Q、各 OT の開始時に 24 を表示しているか。
- 各Q、各 OT の終わりに、正しく非表示にしているか。
- 左側のチームのチームファウルの表示を行う場合、正しいタイミングで行っているか。

U12 TOサポーター マニュアル・ショットクロックオペレーター

【注意】

- 審判の笛でストップしたあとは、残りの時間を継続する場合と、24 秒または 14 秒にリセットする場合がありますが、継続すべき場面で誤ってリセットしてしまうと、ゲームを中断してショットクロックの修正をしなければなりません。このような事態を引き起こさないために、ショットクロックオペレーターは「審判の笛が鳴ったときは、必ず一度ストップし、審判のシグナルを確認して継続かリセットかを判断する」ことを習慣化しておくことが大切です。よい習慣が U12 の段階から身につくよう、サポートをお願いします。
- ボールのコントロールの始まり・終わりの見極めは、大人にとっても難しい技術です。ショットクロックオペレーターが誤ってリセットしてしまい、審判から修正の指示があったときには、残り何秒だったかの情報が必要です。TOサポーターは、ショットクロックの残りの秒数に注意を払いながらゲームを見守るようにしてください。
- ゲームクロックがスタート/ストップするときは、「ジャンプボール後のスタート」「最後のフリースローが不成功でボールがリングに当たったあとのスタート」を除き、ショットクロックも同時にスタート/ストップします。タイマーとショットクロックオペレーターが同時に「スタート！」「ストップ！」とコールしてそれぞれのクロックを操作することを目指させてください。

1. タイマーはゲームクロックを止めると同時に手を上げる。
2. スコアラーとアシスタントスコアラーは声に出して互いに伝え合う。
3. タイマーとショットクロックオペレーターは声を出し合う。

重点項目

各資料 QRコード



T0 マニュアル ハンドブック



U12 T0サポーター マニュアル